

—とやまの森づくりを支える人づくりなどの推進—  
Ⅷ 県民による森づくり提案事業

○趣 旨

県民参加の森づくりを進めるため、県民の皆さんが企画し、実践する森づくり事業への支援を行ないます。  
また、水と緑の森づくり税を活用した事業のアイデアを募集し、水と緑の森づくり事業への反映を検討します。

○平成22年度事業の実績

(1) 県民実践活動事業

県内で活動する団体・グループから事業提案を募集し、第1回富山県水と緑の森づくり会議（平成22年4月19日開催）で審査のうえ、支援を行ないました。

【平成22年度実績】

・ 応募件数27件 実施件数25件



スギ林や広葉樹林を整備し、地元の小学生を招いて森林教室を開催して、間伐材の搬出体験などを行いました。また、搬出した間伐材を活用して木工教室を開き、ベンチなどを製作しました。（東山見森林振興会）



「木いちご探検隊」と題し、学校林を守っている地域の方々とPTAと一緒に、子供たちが一人一人カメラを持って学校林の探検に行きました。（上市町立南加積小学校PTA）

(2) 県民からのアイデア提案

県民から事業のアイデアを募集し、第2回富山県水と緑の森づくり会議（平成22年12月2日開催）で審査のうえ、事業などへの反映を検討しました。

【応募状況等】

・ 応募件数 4件

## H22 県民による森づくり提案事業「県民実践活動事業」実施主体別実施概要

No.	実施団体名	実施場所	参加延べ人数
	実施内容	活動状況写真	
1	東山見森林振興会	砺波市庄川町名ヶ原外 地内	313名
	<p>①広葉樹林の整備と伐採木を活用したキノコの植菌 ②スギ林を間伐し、間伐材を用いたベンチ製作</p> <p>スギ林の間伐、広葉樹林の除伐により明るく人が入りやすい里山になった。 間伐材の出材体験や木工教室を通して、地域の子供たちに森林の大切さ、木材利用の大切さを普及啓発することができた。</p>	 間伐材搬出体験	 間伐材を活用した木工教室
2	雄神地区森林振興会	砺波市庄川町庄外 地内	243名
	<p>①広葉樹林整備と伐採木のキノコ植菌 ②H2Oに植菌したキノコの収穫と料理教室 ③炭づくりと炭の活用体験 など</p> <p>当地域の背後に広がる広葉樹林の整備と伐採材の活用を通じて、地域の里山を見直すきっかけとなり、また、継続的な整備と利用への意識が高まった。</p>	 広葉樹林の整備	 キノコ料理教室
3	森と仲間づくり炭竹会	氷見市上田 地内	119名
	<p>①作業道120mを開設 ②作業道周辺の放置竹林の整備 ③広葉樹に転換する場所へのクヌギ植栽</p> <p>作業道120mを開設し、既存の耕作道と連結したことにより更なる竹林整備と竹材の利用が進むことが期待される。 また、クヌギの植栽を通して、広葉樹林への転換を進めることができた。</p>	 作業道を活用した竹林整備と竹材のチップ化	 クヌギ植栽箇所の下刈り
4	阿古屋野森づくりクラブ	黒部市阿古屋野 地内	412名
	<p>①阿古屋野台地の森林整備と遊歩道整備 ②森林観察等に活用するツリーハウス作り ③間伐材を利用した木工品製作 ④木登りや炭焼き体験など森林環境教育</p> <p>間伐材を活用したツリーハウスが完成したことにより、間伐材の活用方法を紹介するとともに植生観察への利用、木登り体験等多様な森林環境教育の展開が可能となった。</p>	 阿古屋野台地の森林整備	 ツリーハウスと木登り体験

H22 県民による森づくり提案事業「県民実践活動事業」実施主体別実施概要

No.	実施団体名	実施場所	参加延べ人数
	実施内容	活動状況写真	
5	小長沢大山の森を守る会	富山市婦中町小長沢 地内	170名
	<p>①地域内の放置竹林の整備 ②伐採竹を活用したミニ門松や間伐材を活用した花鉢を製作と地域の緑化活動 ③伐採木を活用したキノコ植菌、里山空間を活用した栽培</p> <p>地域内にあった放置竹林の整備が進み、また、整備跡地での親子タケノコ堀体験も開催することができた。 間伐材や伐採竹の利用を通して、地域の緑化活動も行うことができ、住民の地域の里山への意識も高まった。</p>	 放置竹林の整備	 伐採竹を活用した花器づくり
6	梅檀山地区森林振興委員会	砺波市夢の平	159名
	<p>①梅檀山地区の森林現況調査 ②夢の平周辺の森林整備と小路づくり ③間伐材プランターボックス等のクラフト教室</p> <p>夢の平レクリエーション地帯において、森林内を散策できる空間ができた。また、森林調査やクラフト教室により、地区住民の自然や森林に対する意識が高まった。</p>	 森林整備と小路づくり	 プランターボックスづくり
7	山平の森を育てる会	富山市今生津 地内	187名
	<p>①竹林など荒廃森林の整備 ②伐採木を活用したキノコ植菌、伐採竹を活用した花木の雪囲いなど</p> <p>荒廃の進んだ侵入竹の整理、スギ林の間伐など計画通りに行うことができた。 また、伐採木の有効活用なども今まで以上に進めることができた。</p>	 竹林の整備	 キノコの植菌作業
8	NPO黒河竹炭友の会	射水市黒河新 地内	192名
	<p>①放置竹林の整備 ②子供たちのタケノコ掘り体験 ③竹炭の製造</p> <p>放置竹林を整備したことで、地域内の道路が積雪により通行止めになることが無くなった。また、子供たちのタケノコ掘り体験では約30人の親子が参加し、地域の森林の現状について普及啓発することができた。</p>	 竹林の伐採	 タケノコ掘り体験

H22 県民による森づくり提案事業「県民実践活動事業」実施主体別実施概要

No.	実施団体名	実施場所	参加延べ人数
	実施内容	活動状況写真	
9	小菅沼・ヤギの杜	魚津市小菅沼 地内	122名
	<p>①竹林と広葉樹林の整備 ②間伐材でのおもちゃづくりなど森林資源の利用</p> <p>竹林等の整備が進み、クマなど野生動物との緩衝帯としての役割を実感した。 また、おもちゃづくりや炭焼き体験などを通して、森林資源を有効活用することの意義を普及することができた。</p>	 <p>竹林の整備</p>	 <p>間伐材によるおもちゃづくり</p>
10	しんゆう倶楽部	富山市割山 地内	217名
	<p>①竹林等森林整備および林内遊歩道整備 ②間伐材を活用した大乘悟山への案内看板製作・設置 ③伐採竹を利用した竹細工や竹炭の製造</p> <p>森林整備や案内看板の設置により大乘悟山へのアクセスが良くなった。 また、竹材を利用して楽器づくりや竹炭による消臭製品を製作などにより、竹材の利用方法を普及することができた。</p>	 <p>竹林の整備</p>	 <p>竹細工</p>
11	閑乗寺の会	南砺市井波 地内	254名
	<p>①カシナガ被害木等の除去と侵入竹の整備 ②炭焼き体験会の実施</p> <p>予想以上にカシナガ被害木や松くい被害木の整理が進んだ。 また、伐採竹を利用した流しソーメンや製造した炭による工芸品を製作し、地域のイベントに出展するなど、想定以上の活動を行うことができた。</p>	 <p>マツクイ被害木の伐採</p>	 <p>竹炭の製造</p>
12	綾子里山再生利用の会	小矢部市埴生外 地内	65名
	<p>①台風被害林の伐採・整備 ②風倒木を活用したテーブル、ベンチの製作、埴生地区コミュニティ広場への設置</p> <p>風倒木を整理し、地元青年団との協働でテーブル・ベンチを製作して地域のコミュニティ広場に設置した。 地域の人のたちの里山再生に対する意識の高揚につなげることができた。</p>	 <p>被害木の集材</p>	 <p>テーブルの設置</p>

H22 県民による森づくり提案事業「県民実践活動事業」実施主体別実施概要

No.	実施団体名	実施場所	参加延べ人数
	実施内容	活動状況写真	
13	木を植える会	氷見市新保 地内	16名
	<p>新保地区の地滑り跡地に多様な生物の住む森林を再生するため、サクラ、ウメ、タブ、シイ、クルミなど多種多様な樹種を植栽</p> <p>四季の変化を体感できるよう10種類もの花木等を約240本植栽した。 達成感とともに新たな森づくりへの意欲につながった。</p>	 <p>広葉樹苗の植栽</p>  <p>植栽木の支柱設置</p>	
14	ビーフレンド山と森の共同組合	南砺市杉尾 地内	32名
	<p>①カシナガ被害木等の伐採と花木の植栽 ②ミツバチの巣箱を設置 ③キノコ植菌教室の開催</p> <p>カシナガ被害木などの伐採により荒廃した里山を整備した。また、伐採木を利用してニホンミツバチの巣箱を製作し、林内に設置した。</p>	 <p>カシナガ被害木の伐採</p>  <p>間伐材を活用したミツバチの巣箱かけ</p>	
15	南谷地区振興会	小矢部市岩尾滝 地内	63名
	<p>①旧岩尾滝小学校の裏山の歩道整備 ②歩道を活用した周辺森林の整備 ③間伐材を活用したベンチの製作・設置</p> <p>計画通り歩道の設置を行い、樹木の名札かけベンチの設置も行うことができた。 市内外からの来訪者に森林の役割などの理解の場を提供することができるようになり、都市との交流が進むことが期待される。</p>	 <p>歩道づくり</p>  <p>周辺森林の倒木処理</p>	
16	川原保育園保護者会	魚津市坪野 地内	261名
	<p>①自然保育の実践 ②森林内でのお絵かきボード等遊具の設置 ③森林内での公開保育の開催</p> <p>保護者やたくさんの一般参加者とともに、自然体験を通して自然の大切さや自然を身近に感じる活動を行うことができた。 また、ボランティアの協力により自然保育の活動に必要な環境整備や森林整備が進んだ。</p>	 <p>森林内での自然保育体験</p>  <p>保護者の参加による植樹体験</p>	

H22 県民による森づくり提案事業「県民実践活動事業」実施主体別実施概要

No.	実施団体名	実施場所	参加延べ人数
	実施内容	活動状況写真	
17	きんたろう倶楽部	富山市西金屋外 地内	200名
	<p>①活動拠点となる竹製の小屋・ベンチの製作 ②森林療法やノルディックウォーク体験会の実施 ③森の感謝祭の開催</p> <p>活動拠点となる小屋づくりにより森の利活用に対する意識が更に高まった。また、森林セラピー体験等により森の新たな活用方法を普及することができた。更に、森の感謝祭の開催により会員相互の交流と今後の活動への意欲が高まった。</p>	 伐採竹等を活用した活動拠点の小屋づくり	 森林セラピー体験
18	ふるさと種	上市町西種 地内	120名
	<p>①荒廃森林の整備と間伐材を活用したベンチの製作・設置 ②伐採技術研修会の開催</p> <p>森林整備により地域環境が明るくなり、また、神社境内にベンチを設置し、地域住民の憩いの場となった。 また、伐採技術研修会を開催し、森林整備に対する意識が高まった。</p>	 伐採技術研修会	 間伐材によるベンチ
19	森のむささび	小矢部市五位 地内	175名
	<p>①里山林の整備 ②伐採木を利用した炭づくり ③子撫川の浄化を目的とした炭の設置</p> <p>約8カ月間、ほぼ毎週末定期的に着実に活動し、予定していた約8haの里山の整備を行うことができた。 また、地域の河川の浄化用として伐採木を活用して炭づくりを行った。</p>	 里山林の整備	 炭づくり
20	夢創塾	朝日町蛭谷 地内	502名
	<p>①里山林の整備と伐採木の炭焼き ②熱発電装置と木炭電池の製作及び里山のライトアップ</p> <p>炭窯の熱と谷川の水の温度差を利用した熱発電装置と木炭を活用した電池を製作し、既存の水車、風車、太陽光による発電とあわせて、里山の樹木や小屋などを電飾でライトアップした。 PR効果が非常に高く、森の恵みで発電できること、森林のありがたさ・大切さ、森林整備の重要性をおおいにアピールできた。</p>	 地元小学生も参加して伐採木の搬出	 窯の天井で熱発電 熱発電で電飾点灯

H22 県民による森づくり提案事業「県民実践活動事業」実施主体別実施概要

No.	実施団体名	実施場所	参加延べ人数
	実施内容	活動状況写真	
21	樵舎	南砺市利賀村上百瀬外 地内	36名
	<p>①千束地区の巨木調査 ②植生調査技術講習 ③県産広葉樹による森づくり ④会誌発行による利賀地区の巨木の紹介や会の活動紹介</p> <p>利賀地域の森林調査、情報発信を行うとともに、植生調査講習会ではロープクライミング技術講習も行い、活動に必要な技術の習得に役立った。</p>	 巨木調査	 植生調査技術講習会(ロープクライミング)
22	上市町立南加積小学校PTA	上市町黒川 地内	107名
	<p>①学校林を活用した自然観察会の開催 ②地域の「つくしの会」との協働による学校林の整備 ③伐採木を活用したベンチの製作・設置とドングリの植え付け</p> <p>これまで十分に活用されていなかった学校林における自然体験活動や学校林からの伐採木を活用したベンチづくりを通して、環境問題や森づくりに対する意識の醸成、学校林を守ってくれている地域の人たちとの関わりを深めることが出来た。</p>	 学校林での自然観察会	 伐採木を活用したベンチづくり(卒業製作)
23	南郷の里山を考える会	射水市串田 地内	292名
	<p>①侵入竹の伐採整理と作業路の整備 ②里山林整備に関する講習会の開催</p> <p>侵入竹の伐採、チップ化を進め、かつての南郷丘陵の姿に戻りつつある。また、地区のウォーキング大会にも活用されるなど住民への活動の周知、里山保全への理解を深められた。</p>	 伐採竹のチップ化作業	 林内作業路の整備
24	東福寺資源活用研究会	滑川市東福寺 地内	51名
	<p>①竹林や広葉樹林の整備 ②伐採木竹や農作物等を活用した堆肥製造研究と農作物生育実証実験</p> <p>竹林、広葉樹林の整備が進み、冬期間の積雪による倒木、除雪困難の解消につながった。 また、堆肥化を進め、農業利用への足がかりができ、来年以降の作物の出来に期待がかかる。</p>	 竹林の整備とチップ化	 竹堆肥の果樹への施肥

H22 県民による森づくり提案事業「県民実践活動事業」実施主体別実施概要

No.	実施団体名	実施場所	参加延べ人数
	実施内容	活動状況写真	
25	富山県がうん天蚕の会	富山市八尾町檜尾 地内	303名
	①クヌギ林の整備と天蚕飼育 ②「天蚕の世界」講演会の開催  講演会により天蚕の魅力を多くの方に伝えるとともに、八尾の伝統産業の継承、天蚕を通じた里山利用と中山間地域活性化に弾みがつく活動を展開することが出来た。	 <p>クヌギの植栽</p>	 <p>繭の収穫</p>

H22年度合計

実施団体数	25団体	4,611名
-------	------	--------

【参考】

実施団体、参加延べ人数の推移

年度	実施団体数	参加延べ人数
H19	15団体	3,935名
H20	20団体	3,577名
H21	25団体	5,055名
H22	25団体	4,611名

平成22年度 県民からの森づくり事業アイデア提案 一覧

1. 新たな事業の提案

分野	番号	県民からのアイデア提案		対応（案）	
		事業名	事業概要	事業への反映	理由
森林の整備や利活用	1—①	スギ、ヒノキの表皮のはく離体験の実施	スギやヒノキの表皮をはく離することは、中学生や企業のボランティアも安全に作業できる間伐方法であり、伐採計画が容易になる。多数の方が森林整備に参加いただける。	不採用	○スギ、ヒノキの表皮のはく離による間伐は、全国的にも実施例が少なく、本県においては下記の理由により実行は難しいと考える。 ・表皮をはく離すると1年で樹木は枯れるが、そのままにしておくとう害虫の発生や倒木の危険性があり、人家周辺等では実施が難しいこと ・このため、枯れ木を伐倒処理する必要がある、2度手間となる。また、枯れ木の伐倒作業については危険が伴うこと
県民意識の醸成	1—②	仮称「豊かな とやまの森をまもる日」の創設	「豊かな郷土 とやまの森をまもる日」（仮称）を年一回定め、県民総ぐるみで森づくりを考える日、森づくり活動を実践する日を設ける。森づくりの必要性を認識してもらうことが可能となる。	対応済み	○「森づくりを考える日」については、今年度はじめて実施した「県民参加の森づくりフェア」をはじめ、タウンミーティングの開催や各種イベントへの出展、パンフレットなどの作成・配付、県政番組の製作・放送など様々な手段を活用して、森林の大切さ、森づくりの重要性を県民の皆さんに広報してきたところである。 ○「森づくり活動を実践する日」については、9月第3日曜日の森林ボランティアの日に「とやまの森づくりボランティアの集い」を平成18年度から毎年開催しているほか、「とやまの森づくりボランティア交流会」や「とやま森の祭典」などを開催し、県民の森づくりへの参加を促進する取組みを行っている。  今後、機会を捉えて、より多くの県民に森づくりの大切さをPRしていくとともに、実際の活動についても、多くの方に参加いただけるよう努めて参りたい。
森林資源の利活用	1—③	県産材を活用した小・中学校における森林環境教育の実施	未利用の間伐材や製材の端材を学校へ配送し、図工の木工工作の授業で、この県産材を使用するとともに、専門の教員（指導者）を養成する。	一部採用	○現在実施している「森の寺子屋」は、児童が県産材に触れあうことにより森づくりへの理解が深まることを目的に、県が養成したフォレストリーダーにより、小学校と連携して総合学習等の授業において、簡易な木工工作（箸や巣箱など）の製作指導を行っている。 ○今回の提案を活かし、学校との連携をより深めるため、製作記念として学校に設置して利用するようなブランター等の大型木製工作物の製作に取り組みたい。

2. 既存の事業を改正する提案

分野	番号	県民からのアイデア提案		対応（案）	
		事業名	事業概要	事業への反映	理由
その他	2—①	各市町村に富山の森づくり推進課の開設	県民実践活動事業（県民自らが企画・実践する森づくり活動を支援する事業）の補助金交付窓口（県の機関）を各市町村の中に設置する。このことにより、きめ細かな、迅速な指導が可能となる。  申請手続きが煩雑であり、使用した経費の根拠資料など書類作成の負担が大きい。簡素化してほしい。	不採用	○県の出先機関を市町村に設置することは困難である。今後は県と市町村と連絡を密に取るなどして、指導を求める事業実施者への迅速な対応に努めてまいりたい。  ○事業に要した経費の確認については、補助事業の性格上必要なことであり、今後は事業実施者に資料の提出を求めていきたい。なお、提出書類については、これまでも必要最小限なものをお願いしてきたところであり、今後は、郵送やメールによる提出をなどによる簡素化について逐次検討してまいりたい。